

「こども条例(仮)」を考える 市民ワークショップ（第6回）

～高山市の医療について～

令和6年5月27日（月） 高山市医療政策課

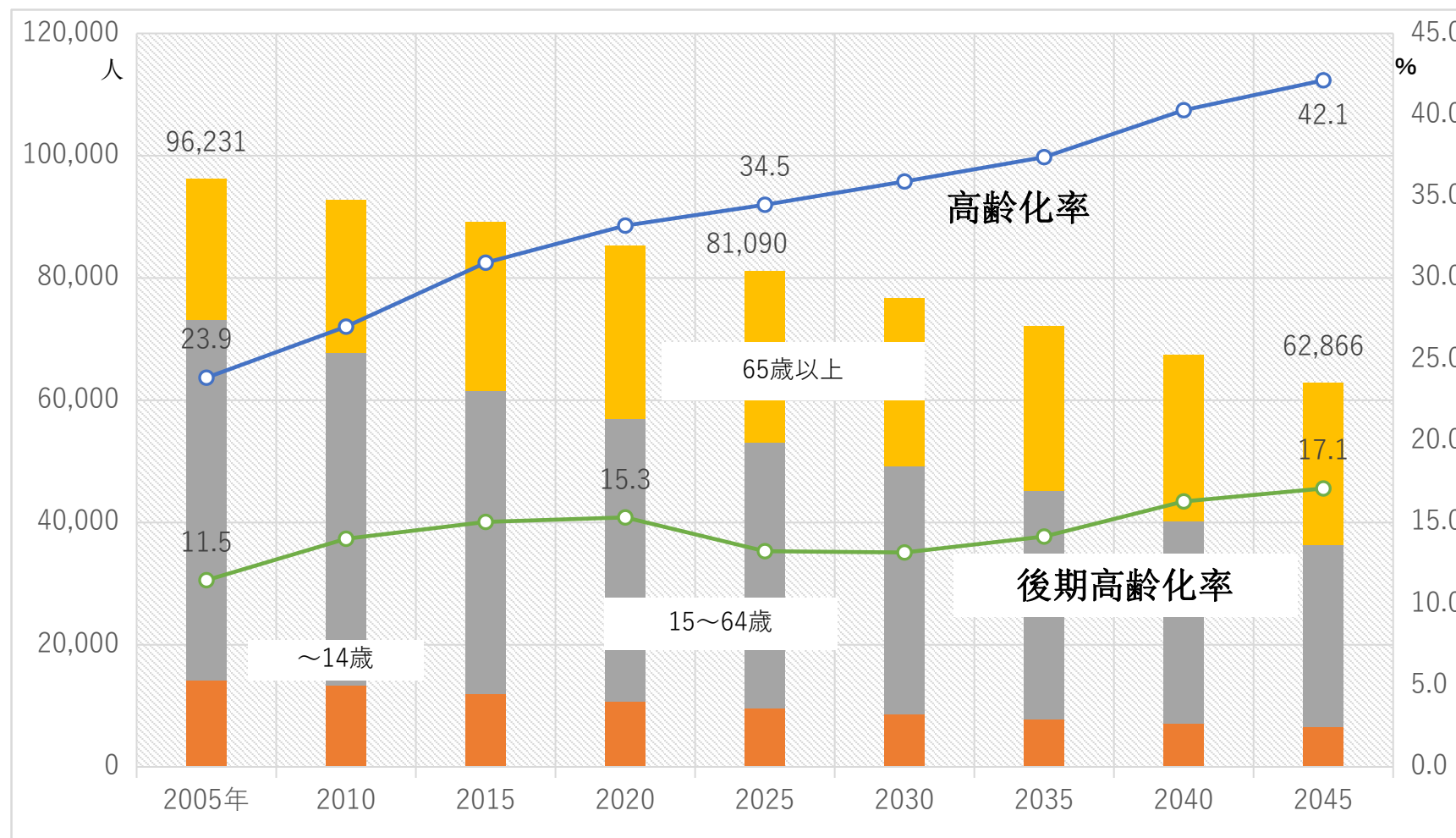
いいトコいっぱいの高山市 地域医療の観点から見ると・・・

- ・ 日本一広い市域
- ・ 山間部の地理的特徴
- ・ 少子化
- ・ 超高齢社会
- ・ 人口減少
- ・ 人口分布の偏在

医療体制など課題も

- * 医師をはじめとする医療人材の不足
 - ・ 医師の偏在(診療科、地域、年齢)
 - ・ 開業医の減少と高齢化
- * 持続可能な医療供給体制の整備

高山市の人口推移と高齢化



人口減少・少子高齢化はさらに・・・

高山市・地域別人口は？

	人口	平均年齢	高齢化率
岐阜市	401,294	47.84	29.1
高山市	83,537	49.85	33.6
高山	59,160	48.96	32.0
丹生川	4,008	49.98	34.4
清見	2,177	52.19	36.0
荘川	986	56.15	43.6
一之宮	2,385	50.69	35.5
久々野	3,179	52.93	39.8
朝日	1,444	55.92	43.4
高根	275	67.12	69.5
国府	7,257	50.17	35.2
上宝	2,666	54.89	41.6

令和5年3月31日現在

高山市内の医療機関は？

- ・ 病院 3 (うち救急指定病院：2 施設)
- ・ 一般診療所：84施設
- ・ 歯科診療所：33施設

高山市内の医療従事者数は？ (R2)

- ・ 医師数：186人 (H24：192人)
- ・ 歯科医師：44人 (H24:43人)
- ・ 助産師：57人 (H24:49人)
- ・ 看護師：1,190人 (H24:1,117人)

**人・医療機関・医療機能
が高山地域に集中**

地域医療を支える医師

医師偏在指数/都市集中

2019年医師偏在指数に係るデータ集（厚生労働省）

区分	医師偏在指数	順位	
全国	239.8	—	
岐阜県	206.6	36/47	
岐阜	261.7	54/335	
西濃	161.1	226/335	医師少数区域
中濃	169.6	195/335	
東濃	183.8	150/335	
飛騨	154.9	243/335	医師少数区域

全国の二次医療圏335の下位33.3%（3分の1）に属すると「医師少数区域」に認定

医療分野の施策

- 中核病院への支援
医学生実習、臨床研修支援、救急救命センター運営支援
- 休日診療所、国保診療所の運営
- 飛騨メディカルハイスクール開催（将来の医療人材確保）
- 県医学生修学資金制度
岐阜大学地域枠入学医学生に6年間10～20万円/月貸付
（一定期間、出身圏域での勤務で返還免除）

地域医療を支える国保診療所

6 診療所(+ 5 出張診療所)

各診療所医師 1 名体制

※久々野 2 名体制

清見診療所	(医科のみ)
荘川診療所	(医科・歯科)
久々野診療所	(医科・歯科)
朝日診療所	(医科・歯科)
高根診療所	(医科・歯科)
栃尾診療所	(医科のみ)
栃尾歯科診療所	(歯科のみ)



地域医療を支える国保診療所

診療所の1週間

久々野診療所の例

	月	火	水	木	金
8:30～12:00	外来	外来	外来	外来	外来
13:00～17:00	訪問診療 主治医意見書	出張診療所 外来	訪問診療 予防接種	訪問診療 学校健診	往診 カルテ整理

※土日祝・夜間は基本的に休み

※往診・看取りは休日・夜間も対応

移動診療車の導入

- へき地での医療提供体制の維持
診療所の医師と移動診療車を
オンラインで結んで遠隔診療



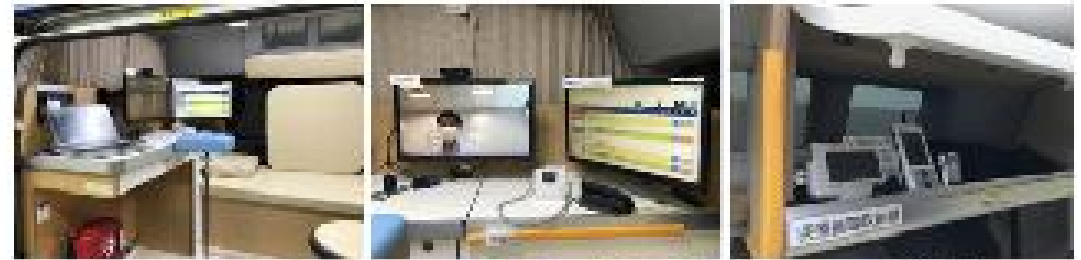
遠隔聴診器



パルスオキシメーター
(動脈血酸素飽和度/脈拍)



ポータブル
エコー



医療人材の育成

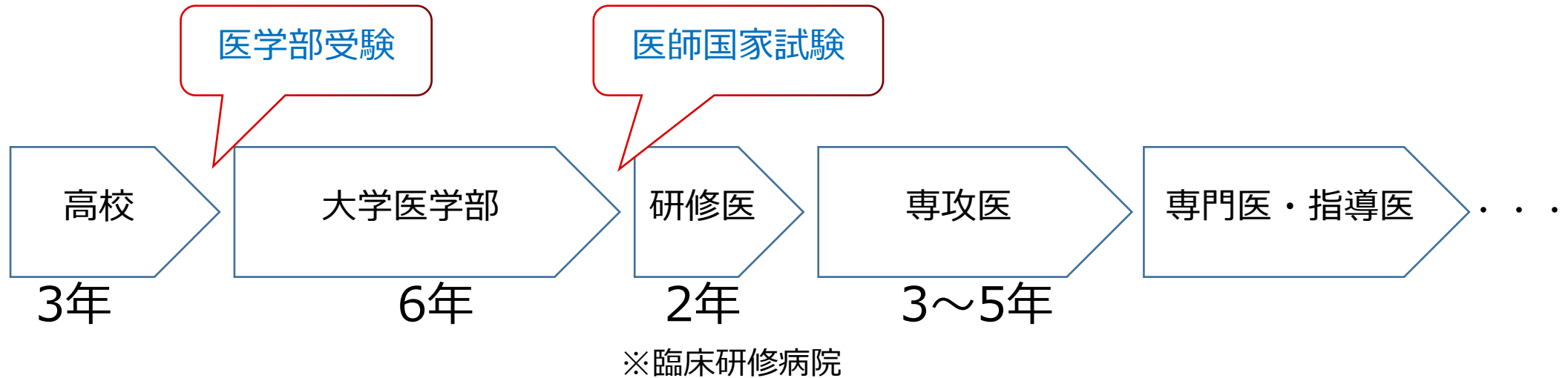
- 飛騨高山医療者教育学講座
(岐阜大学寄附講座 R6～)



- 飛騨メディカルハイスクール (R3～)



医師のキャリア形成



医師も、結婚・出産・子育て

医療資源の適正利用

- 24時間対応安心ホットライン

0120-54-7830（いつでも **よる**でも、**なやみゼロ**）

健康や医療に関する電話相談

（気になる症状や、こどもが夜に発熱したらどうしたらよいか？）

- 救急安心センターぎふ

7 1 1 9（ダイヤル電話等でつながらない場合：058-265-0009）

急な病気やケガで、救急車を呼んだ方がいいか判断に迷うとき

健康の維持・増進のために・・・

- 健康診断（各種がん検診、歯科検診）
- バランスの良い食事
- 適度な運動

意見交換（対話）

今回のテーマ（医療分野）では、グループを分けずに
やってみようかな（当日の参加状況と参加者意見を踏まえ決定）
分けない場合、進行・記録は事務局で実施

※終了時刻を案内してスタート



医療分野
関連分野
について

広く「こども政策（計画）」を考えていくうえで

- 質問（こうなっているのはなぜ？）
- 提案（こうしてはどうか）
- 意見（こう思う、こうでないか）
- 紹介（こうやっている、こう聞いた） など

対話の ルール

✓他のメンバーの意見をよく聴き、
自分の想い「≡解釈」と違っても否定しない

✓絶対的な「正解」はないので、
こんなことと思わず意見を出す
(言いたくない時は「パス」できる)

✓できるだけ「～して＝要求型」でなく
「～しよう！＝提案型」で、建設的に

大事

✓多くの方が話せるよう、発言は簡潔に1回1分程を目安に